

種名	<u>ク ロ ジ</u> <u>Emberiza variabilis</u>												
													
分類	スズメ目ホオジロ科												
特徴	暗い林を好む黒っぽいホオジロ類。本州中北部の主に日本海側と北海道の山地に分布し繁殖するが、少ない。南限として、兵庫県氷ノ山で繁殖記録がある。冬期は暖地に移動する。国外ではカムチャッカ半島、サハリン、千島だけに棲息する。												
生活	繁殖期は冬に積雪の多い地方の山地に分布し、ブナなどの落葉広葉樹林にかけて、林床にササ類が密生した林に好んで棲息する。つがいで縄張りを持ち、オスは高木の下枝などでさえずる。低木やササの低い枝の上に、枯れ草や小枝などで椀形の巣を作る。林内の地上をはね歩いて草の実などをついばむ。驚くとすぐにやぶ陰に入ってしまうので、観察するのは難しい。												
声	繁殖期には「ホーチョチョピィー」と聞かれる、張りのある声でさえずる。鳴き始めの「ホー」という声に特徴があり、時にはこの「ホー」という声だけ繰り返して鳴くこともあるという。地鳴きは「チッ」という細い声である。												
見分け方	ホオジロ類としては大形で、尾羽の両側に白色部がない。オスは暗い灰色の色彩で見間違えることはない。メスは黄褐色の頭中央線と眉斑を持ち、腰は茶褐色。アオジに似て見えるが下面に黄色味はない。												
時期	(月)	1	2	3	4	5	-	-	-	-	10	11	12
その他	全長(L)17cm 翼開長(W)26cm												
参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥													